

井川龍二 県政報告

平成26年12月5日、県議会で質問に立つ

昨年6月、徳島選挙区県議会議員補欠選挙にて、多数の県民の皆様にご支援を頂きました。半年余りではありますが、この愛する「徳島」のために、精一杯働いて参りますので、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、私は、県議会におきまして、文教厚生常任委員会、広域交流対策特別委員会に所属し、少子化対策、保健・福祉対策、教育問題等について、幅広く提言をしました。また、去る12月5日に本会議において、次のとおり質問しました。



● 人口減少社会を見据えた「公共施設の在り方」について

知事から、「公共施設等総合管理計画」の策定に当たり、「計画の羅針盤」として、工夫を凝らした「複数の数値目標」を掲げていくとの「明解な答弁」。

● グローバル戦略

世界で活躍する魅力ある企業が育つことで、若者が希望を持って働き続けられる「理想の徳島」の実現を要望。

● 認知症対策

認知症の方の変化に適切に対応する事が重要と考える。知事から「認知症サポーターのフォローアップ」と「認知症初期集中支援チーム設置」の答弁。

● 男性不妊治療費助成の拡大

不妊治療の制度拡大により、治療に取り組みやすい環境が整う。

● 児童生徒の体力の向上

教育長から、「学校と家庭が一体となって協力を推進する」との力強い答弁。

政治一直線！「さあ、こい」と立ち向かっていく覚悟であります。

どうかよろしくお願い申し上げます。

時節柄、皆様には、ご自愛下さいませ。

県議会議員

井川龍二